

# まちの ニュース

## 地域の安心安全を守る消防の使命を再確認



統制の取れた分列行進を披露し、団結力を示しました

市民の生命・財産を火災や災害などから守る市消防団（渡辺東六団長）と市婦人消防協力隊（津志田レ子隊長）の出初式は1月3日、市役所周辺で行われました。

消防団員450人、婦人消防協力隊員180人、消防車両33台が出動しました。団員たちは、ラッパ隊を先頭にして、市役所前で車両部隊とともに一糸乱れぬ分列行進を披



観閲で規律と士気の高さを示す団員たち

露。統率の取れた高い規律と団結力を示しました。

式典で渡辺団長は「郷土愛護と相互扶助の精神で、火災や災害から市民の生命・財産を守る消防防災の任務に励んでほしい」と訓示しました。

統監の田村正彦市長は「渡辺団長、津志田隊長の指揮のもとに団結し、市民の安心安全を守るために尽力してください」と団員たちを激励しました。

引き続き統監や団長などによる観閲を行い、団員たちの士気の高さと規律の厳正さを確認しました。

団員たちは、自分たちの手で火災や災害などから地域を守ろうと、意欲を高めていました。

## 地域の力になるためスノーバスターズ出動

一人暮らしのお年寄りなどの家の周りを除雪する安代地区スノーバスターズは1月11日、安代福祉センターで出発式を行い、今シーズンの活動を開始しました。

当日は、安代中学校の生徒など約20人の隊員が参加。出発式で小林順一副市長は「高齢者は除雪で大変苦労しています。春までがんばって取り組んでください」と激励しました。



↑隊員みんなで力を合わせて、高齢者世帯の生活路確保のために除雪を行います

←出発式で隊員たちを激励しました

した。また、参加する安代中学校の生徒を代表して斎藤幸恵さん（同校2年）が「お年寄りの皆さんのためにがんばって活動し、地域の力になりたいと思います」と決意を述べました。

隊員たちは、3月まで毎週日曜日に対象となる19戸を数班に分かれて訪問。道路までの除雪や安否確認などに取り組みます。

## 白雪を踏みしめて女性などが祈りを捧げる

松尾寄木地区に伝わる小正月の伝統行事、寄木天照皇大神宮の裸参りは1月16日、同地区で行われました。

女性や子どもを含む23人が身を清め、松尾地区公民館南寄木分館を出発。鈴の音を響かせながら、家内安全や無病息災を祈願しながら約1.5キロを練り歩きました。

保存会では、伝統を継承しようと、南寄木、新田、北寄木の3分館を持ち回りで出発点にしています。



吹き付ける寒風の中、地域を練り歩く一行

## 新春の節目に意欲を高める合同初点検実施



観閲を行い、隊員たちの士気を確認しました

隊員の規律を高めようと市交通指導隊（高橋忠一隊長・防犯隊（遠藤義明隊長）合同初点検は1月10日、西根地区体育館前で実施されました。

交通指導隊員28人、防犯隊員18人が出動。関係者などが見守る中で隊員の観閲が行われ、遠藤防犯隊長の号令のもとで、手帳や警笛などを点検しました。

隊員たちは、心も新たに交通安全や地域安全の推進を誓いました。

岩手警察署（吉田聖署長）は

1月9日、田村真央さん（平館高2年）を一日警察署長に委嘱し、啓発活動を行いました。

これは、1月10日の110番の日に合わせて、正しい110番の使い方などを広く知ってもらおうと行われたものです。田村さんは、市役所で田村正彦市長に「110番は安心のよりどころ。正しい利用に協力を」とメッセージを伝達。市内各地でチラシ配布など啓発活動を行いました。

## 平館高校の生徒が一日警察署長として着任



啓発活動をする一日警察署長の田村さん



さまざまな風呂敷の活用法を学ぶ参加者

「カンタン！風呂敷講座」は1月22日、松尾地区公民館で開かれました。

地域の女性12人が参加し、「和のくらし小袖」店長の高屋裕美子さんを講師に迎えました。風呂敷の活用法を学びました。風呂敷に結び目を付けることで、バッグや巾着、リュックサックなどに早変わり。また、インテリアとしての身の回りの物を包む方法など、さまざまな活用法を教わりました。

## マイバッグよりもエコな風呂敷の活用講座



## 体験できる荒屋新町商店街の一年目を報告

安代地区荒屋新町地域で行われている「ぶらっ」と一日体験工房荒屋新町商店街」の事業報告会は1月7日、新安比温泉で開かれました。

関係者など40人が参加。20年9月から進めてきた事業の概要や同11月に実施したオープンイベントの結果、今後の商店街振興計画の提案などが報告されました。参加者からは、体験工房実施の苦労話やイベント後の体験者との交流などの意見が出されました。



体験工房実施の感想などを語る参加者

## 楽しく学んで心を豊かにする学びのひろば

平成20年度生涯学習推進大会「学びのひろば」は1月25日、西根地区市民センターで開かれました。

公民館講座やサークル活動などで製作した作品展示のほか、ヨガや料理教室などの体験学習が行われました。

また、記念講演として、川村寿法さんが「本当の意味の出会いとは」と題して講演。劇団ゆう「ゆり組」は、オリジナルミュージカル「二寸法師と小人たち」を披露しました。



元気いっぱいミュージカルを披露する子どもたち

平館公民館は1月9日、小正月行事のミズキ団子作りを行いました。

平館保育所の園児と平館公民館講座「なんでも道場」に参加する児童と、「老春大学」の参加者など約60人が、世代の垣根を超えて挑戦しました。

ミズキの枝に無病息災や商売繁盛などの願いを込めながら、色とりどりの団子などを飾り付け。完成したミズキ団子は、子どもたちが地域の公共施設などに贈りました。

## みんなの幸せを願いミズキの枝を飾り付け



ミズキの枝を飾り付ける平館保育所の園児たち



金メダリストの三ヶ田礼一さんから指導を受けました

いわてスーパークィッズ・スペシャルスクールは1月9日、田山スキー場で行われました。いわてスーパークィッズ55人が参加。午前にジャンプ競技の見学、午後はクロスカントリースキーでのトレーニングを行いました。午前に模範ジャンプを披露した小林陵侑くん(柏台小6年)は「スーパークィッズのトレーニングは、いろいろな種目に取り組めて楽しい」と感想を聞かせてくれました。

## いわてスーパークィッズが市内で講習会実施

## 澄み渡る空の下で無病息災などを祈願する

市無形民俗文化財の平笠裸参りは1月8日、女性15人を含む30人が参加して行われました。

抜けるような青空の下、白装束に身を包み、験竿<sup>けんざん</sup>を掲げた一行は、地域の神社を巡り拝礼をする途中で民家や商店

に立ち寄り、鈴の音を響かせながら五穀豊穡<sup>ごこくほうじやく</sup>などを祈願しました。

沿道で市民が見守る中、平笠地域の宮田神社から大更地域の八坂神社を目指し、約10<sup>キ</sup>の道のりを5時間かけて練り歩きました。



↑戦時中に女性が受け継いで伝えたことから、全国的にも珍しい女性が中心の裸参りとなりました

→沿道で多くの市民が見守る中、八坂神社を目指します

## 南国での交流を通して多くを学ぶ少年の翼



名護市との交流会に参加したメンバーで記念撮影(1月7日)

市内の小中学生と高校生が沖縄を訪問し、異文化交流を深める20年度八幡平市「少年の翼」は1月6日から9日まで、友好都市の名護市などで行われました。

これは、沖縄との自然や文化の違いを理解しながら交流し、児童生徒の視野の拡大と心身の健全育成を図ろうというものです。

団員は、10月から4回にわたり事前研修を行い、名護市との交流会で市を紹介する壁新聞やクイズなどを作成。市



解団式で、大きく成長した団員たちにねぎらいの言葉をかける高橋北英教育長

出発前日の1月5日には、市友好都市交流促進センターで結団式を開催。式で団員たちは、研修に向けてそれぞれ決意を表明しました。

翌日から、いよいよ沖縄での研修が始まります。友好都市の名護市で交流会を通じて、友情をはぐくみました。また、研修最終日には、ひめゆりの塔などを訪れ、平和の大切さを学びました。

1月9日に解団式が行われ、参加した団員は「研修を通じて学んだことを、これからの生活に活かしたい」と意欲を高めていました。